

# 室内に発生するカビとアレルギーについて

## ■カビの種類と発生場所

カビ名	排水溝	浴室	洗面所	トイレ	結露壁	台所	冷蔵庫	空中	ハウスタスト	畳	木材・繊維類	居間	和室	押し入れ	靴箱	じゅうたん	衣類	エアコンフィルター	靴	皮革	書籍	レンズ	フィルム
絶対好湿性・好湿性真菌																							
リゾプス	○																						
アルタナリア		○	○	○	○	○	○	○	○														
フザリウム	○	○	○	○	○	○	○	○	○														
アウレオバシジウム	○	○	○	○	○	○	○	○	○														
ゲオトクリム	○	○					○																
トリコデルマ	○																						
クラドスポリウム	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○							
ケトミウム		○								○	○												
耐乾性真菌																							
ペニシリウム		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アスペルギルス							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
好乾性真菌																							
ユーロチウム									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アスペルギルス・レストリクタス									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ワレミア									○	○	○	○	○	○	○	○							

※赤文字

食品工場でも注意が必要

← 湿っぽい環境

→ 乾いた環境

## ■アレルギー

カビ・酵母のなかでアレルギーとして重視されている主なものは、クラドスポリウム、アルタナリア、ペニシリウムなどのカビやユーロチウムやワレミアといった好乾菌、およびカンジタ、トリコスポロン、アウレオバシジウムなどの酵母で、ヒトの皮膚、毛髪、口腔内などに分布しているカンジタを除き、いずれも環境中に広く分布しています。環境中のカビ胞子は、主に吸入性アレルギーとして作用し、何らかの原因で多量の胞子が空中に浮遊した場合、感受性を有するヒトに対して即時型（I型）アレルギーを起こしますが、体表で増殖したり感染した場合にもアレルギーとして作用することがあります。

また、過敏性肺臓炎は酵母やカビ胞子の吸入によって起り、高熱や呼吸困難などを主徴とする疾患です。夏型過敏性肺臓炎は、ハト、インコなどの鳥の糞中で増殖し、乾燥後空气中に飛散したりトリコスポロン・クタネウムやクリプトコッカス・ネオファルマンズなどの酵母の吸入が原因で発生しています。また、超音波加湿器の水槽中で増殖したカビ・酵母や細菌は霧とともに周囲に飛び散って吸入性のアレルギーとなりますし、エアコンのフィルターの汚れなどが原因で空气中にたくさんのカビ胞子が飛散した場合にも、それを吸入することによって過敏性肺臓炎が発生する場合もあり、それぞれ加湿器肺、空調病と呼ばれています。いずれもIV型のアレルギー反応といわれています。